

## 5. 容量拠出金の計算方法

### (参考) 容量拠出金仮請求額通知書（年間総額）の算定式

- 実需給2024年度に係る容量拠出金について、2024年7月の請求開始にあたって、2023年12月に仮請求額通知書（年間総額）を送付予定です。
- 各小売電気事業者へ通知する仮請求額に関する計算式は以下になります。

$$\begin{aligned} \text{仮請求額（年間総額）} &= \sum \left( \text{エリア別月別の小売電気事業者の負担総額} \times \frac{\text{当該エリアの各小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}}{\text{当該エリアの全小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}} \right) \\ &= \text{エリア別4月の小売電気事業者の負担総額} \times \frac{\text{当該エリアの各小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}}{\text{当該エリアの全小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}} + \text{エリア別5月の小売電気事業者の負担総額} \times \frac{\text{当該エリアの各小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}}{\text{当該エリアの全小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}} \\ &\quad + \dots (6月 \sim 2月) \dots + \text{エリア別3月の小売電気事業者の負担総額} \times \frac{\text{当該エリアの各小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}}{\text{当該エリアの全小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}} \end{aligned}$$

- 2023年12月時点で入手可能な諸元を用いた概算金額をお知らせすることを目的としており、2024年7月以降の実際の請求額では算定方法が異なることにご留意ください。

## 容量拠出金仮請求額通知書

(会員情報管理システムにてダウンロード)



エリア：北海道 / 7月：〇〇kW  
 / 8月：〇〇kW / 9月：  
 〇〇kW / 合計：〇〇kW

諸元B

## 公表資料

(「容量拠出金仮請求額通知書(年間総額)の発行について」に公表されている諸元)

### 仮請求額の算定で用いる各種情報

仮請求額の算定で用いる各種情報のうち、「各エリアのピーク時電力kW」「容量拠出金総額」の情報は下記のとおりです。

なお、個社毎の夏季ピーク時電力kWについては、通知書に記載いたします。

#### ①エリアのピーク時電力kW(2023年度需要実績)

2023年度の需要実績に基づく、各エリアの夏季における最大需要発生日時及び全小売電気事業者の以下のとおりです。

エリア	最大需要発生日時(7月)	最大需要発生日時(8月)	最大需要発生日時(9月)	ピーク時電力kW合計	諸元C
北海道	2023/07/28 (11:00~12:00)	2023/08/25 (11:00~12:00)	2023/09/01 (10:00~11:00)	12,789,864 kW	4,263,288 kW
東北	2023/07/28 (13:00~14:00)	2023/08/23 (14:00~15:00)	2023/09/01 (13:00~14:00)	40,679,387 kW	13,559,796 kW
東京	2023/07/18 (14:00~15:00)	2023/08/04 (13:00~14:00)	2023/09/05 (14:00~15:00)	156,412,803 kW	52,137,601 kW
中部	2023/07/18 (14:00~15:00)	2023/08/21 (14:00~15:00)	2023/09/05 (14:00~15:00)	71,625,171 kW	23,875,057 kW
北陸	2023/07/28 (13:00~14:00)	2023/08/03 (14:00~15:00)	2023/09/04 (14:00~15:00)	14,168,197 kW	4,722,732 kW
関西	2023/07/27 (14:00~15:00)	2023/08/21 (13:00~14:00)	2023/09/04 (13:00~14:00)	78,447,395 kW	26,149,132 kW
中国	2023/07/27 (14:00~15:00)	2023/08/03 (13:00~14:00)	2023/09/04 (13:00~14:00)	29,077,219 kW	9,692,406 kW
四国	2023/07/27 (13:00~14:00)	2023/08/21 (13:00~14:00)	2023/09/04 (13:00~14:00)	13,723,085 kW	4,574,362 kW
九州	2023/07/27 (14:00~15:00)	2023/08/21 (14:00~15:00)	2023/09/04 (15:00~16:00)	44,653,320 kW	14,884,440 kW

#### ②容量拠出金総額

2024年度を実需給年度とする容量拠出金総額として、仮請求額の算定では、2023年5月10日に公表しているエリア毎の契約締結総額(経過措置控除後)を元に算定を行います。エリア毎の一般送配及び小売電気事業者の負担総額は以下の通りです。

エリア	一般送配事業者と配電事業者	小売電気事業者	ひと月当たりの額(4ヶ月平均) (小売電気事業者)	ひと月当たりの額(3月) (小売電気事業者)	諸元A①	諸元A②
北海道	4,225,832,040 円	46,006,987,090 円	3,833,915,590 円	3,833,915,600 円		
東北	11,445,032,460 円	124,603,026,257 円	10,383,585,521 円	10,383,585,526 円		
東京	44,913,249,000 円	488,974,300,769 円	40,747,858,397 円	40,747,858,402 円		
中部	20,696,568,000 円	225,325,267,966 円	18,777,105,663 円	18,777,105,673 円		
北陸	4,164,675,378 円	45,341,169,393 円	3,778,430,782 円	3,778,430,791 円		
関西	22,342,114,800 円	243,240,473,697 円	20,270,039,474 円	20,270,039,483 円		
中国	8,831,666,640 円	96,151,093,855 円	8,012,591,154 円	8,012,591,161 円		
四国	4,164,760,200 円	45,342,092,857 円	3,778,507,738 円	3,778,507,739 円		
九州	12,906,515,520 円	140,514,314,646 円	11,709,526,220 円	11,709,526,226 円		
計	133,690,414,038 円	1,455,498,726,530 円				

※上記金額に消費税は含まれておりません。

# 端数処理の方法について

○4月～2月における仮請求額

$$\text{仮請求額 (4月～2月)} = \text{エリア別の小売電気事業者の負担総額 (4月～2月)} \times \frac{\text{当該エリアの各小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}}{\text{当該エリアの全小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}}$$

小数17位で四捨五入

諸元A① (緑色)

諸元B (赤色)

諸元C (青色)

○3月における仮請求額

$$\text{仮請求額 (3月)} = \text{エリア別の小売電気事業者の負担総額 (3月)} \times \frac{\text{当該エリアの各小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}}{\text{当該エリアの全小売電気事業者の夏季ピーク時電力kW実績合計}}$$

諸元A② (青色)

諸元B (赤色)

諸元C (青色)

○年間の仮請求額

$$\text{仮請求額 (年間総額)} = \text{仮請求額 (4月)} + \text{仮請求額 (5月)} + \dots + \text{仮請求額 (3月)}$$

小数1位で四捨五入

# 計算例

九州エリア、合計1000kWの通知の場合

○4月～2月における仮請求額

$$\text{仮請求額 (4月～2月)} = 11,709,526,220 \text{ 円} \times \frac{1,000 \text{ kW}}{44,653,320 \text{ kW}} = \underline{26223} \overset{2}{1.928555} \text{ 円}$$

0.0000223947513869069...  
小数17位で四捨五入

小数1位で四捨五入

○3月における仮請求額

$$\text{仮請求額 (3月)} = 11,709,526,226 \text{ 円} \times \frac{1,000 \text{ kW}}{44,653,320 \text{ kW}} = \underline{26223} \overset{2}{1.92869} \text{ 円}$$

0.0000223947513869069...  
小数17位で四捨五入

小数1位で四捨五入

○年間の仮請求額

$$\text{仮請求額 (年間総額)} = \underline{262,232} \times 11 + \underline{262,232} = 3,146,784 \text{ 円}$$

# 5.容量拠出金の計算方法 (参考)容量拠出金の端数調整

- 容量確保契約金額は、約款に基づき、金額の単位は1円とし、その端数は切り捨てます。
- したがって、容量確保契約金額の算定過程で整数化が必要な場合、端数の切り捨てにより端数調整を行います。
- 一方、容量拠出金は、容量確保契約金額の総額と同額とする必要があり、エリア配分や配分比率の算定、月次請求や還元等の算定において端数が生じた場合、端数調整が行われます。
- **容量拠出金の算定過程の整数化**においては、**端数の四捨五入により端数調整**を行います。また、その結果、算定時の総額との**端数調整の必要が生じた場合はエリア配賦時・事業者配賦時に調整**※します。

※プラスとマイナスの両方の調整が行われます。

